

アセタミプリド粒剤 モスピラン粒剤	取扱メーカー： 日農，日本曹達 原体メーカー： 日本曹達
成分： アセタミプリド〔ネオニコチノイド系〕……………2.0%	性状： 淡灰色細粒 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 従来の薬剤に抵抗性の発達した害虫にも有効である。
- 定植時の土壌処理により，コナガ・アオムシ・アザミウマの発生を長期間抑える。
- ミツバチ・マルハナバチに対して影響の少ない薬剤である。
- 天敵類に対して悪影響が少ない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- キャベツ，ブロッコリー，非結球あぶらな科葉菜類，セルリーに使用する場合，葉害発生のおそれがあるので使用量を厳守し，根に直接ふれぬよう，施用後土壌とよく混和してから植え付ける。
- かんぎつに用いる場合は，今期に収穫見込みのない苗木に対して株元処理し，処理後は軽く散水する。対象害虫の発生前に予防的に処理する。

- かぼちゃに対して，は種時に播溝土壌混和で使用する場合は，栽植密度に合わせ播溝に株当たり1gに相当する量を均一に施用した後土壌混和する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 適用作物（キャベツ，はくさい，ブロッコリー）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 共通注意事項8．適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 共通注意事項6．街路・公園・堤とう等で使用する場合の注意事項を参照。



【適用と使用方法】

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
ぶ ど う	ブドウネアブラムシ	30g/m ² (但し 6kg/10a 以下)	収穫 14 日 前まで	3 回 以内	樹冠下又は主幹周辺に散布	3 回以内
かんきつ(苗木)	ミカンハモグリガ アブラムシ類	10～20g/ 樹	育苗期	1 回	株元散布	1 回
キ ャ ベ ツ	コナガ アオムシ	1～2g/ 株	定植時		株元散布	6 回以内 (粒剤の定植時 までの処理は 1 回以内、散布及び定植後の株元 散布は合計 5 回 以内)
	コナガ アオムシ アブラムシ類	0.5～1g/ 株	定植前日～ 定植当日			
	ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ	0.5g/ 株	定植時			
	アブラムシ類	1g/ 株 1～2g/ 株				
	は く さ い	コナガ アオムシ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	0.5g/ 株		定植前日～ 定植当日	
コナガ アオムシ アブラムシ類		1g/ 株	定植時		植穴土壌 混和	
ブロッコリー	ハイマダラノメイガ	0.5g/ 株	定植前日～ 定植当日		株元散布	
	コナガ アオムシ アブラムシ類	0.5～1g/ 株				
	アオムシ アブラムシ類	1g/ 株	定植時		植穴土壌 混和	
	コナガ	1～2g/ 株				
カリフラワー	コナガ アオムシ	0.5～1g/ 株	定植前日～ 定植当日	株元散布	4 回以内 (粒剤の定植時 までの処理は 1 回以内、散布は 3 回以内)	
	アブラムシ類		定植当日			
非結球あぶら な科葉菜類 (チンゲンサイ を除く) だ い こ ん	コナガ アブラムシ類	3kg/10a	は種時	播溝土壌 混和	1 回	
チンゲンサイ	コナガ アブラムシ類 アオムシ	0.5g/ 株	定植前日～ 定植当日	株元散布	2 回以内 (粒剤の処理は 1 回以内、散布 は 1 回以内)	
	キスジノミハムシ		定植当日			
ひこしまはるな	アブラムシ類	1g/ 株	定植時	植穴土壌 混和	1 回	
非結球メキャベツ	ハイマダラノメイガ				3 回以内 (土壌 混和は 1 回以内、 散布は 2 回以内)	

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	
きゅうり	アブラムシ類	0.5～1g/ 株	定植時	1回	株元散布	5回以内 (粒剤の定植時までの処理は1回以内, 2% 粒剤の定植後の株元散布は1回以内, 散布, くん煙及び1% 粒剤の株元散布は合計3回以内)	
		0.5g/ 株	定植後, 但し収穫30日前まで				
すいか		1g/ 株	定植時		植穴土壌混和	4回以内 (粒剤の定植時までの処理は1回以内, 散布, くん煙及び定植後の株元散布は合計3回以内)	
			かぼちゃ			は種時	3回以内 (粒剤の定植時までの処理は1回以内, 散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
とうがらし類(ししとうを除く)		0.5g/ 株			定植時	植穴土壌混和	2回以内 (定植時の土壌混和は1回以内)
ししとう		コガネムシ類幼虫	1g/ 株				3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内, 散布は2回以内)
ピーマン		アブラムシ類	0.5g/ 株		定植前日～定植当日	株元散布	3回以内 (粒剤の定植時までの処理は1回以内, 散布, くん煙及び定植後の株元散布は合計2回以内)
		コナジラミ類	0.5～1g/ 株				4回以内 (粒剤の定植時までの処理は1回以内, 散布, くん煙及び定植後の株元散布は合計3回以内)
なす		アブラムシ類	0.5g/ 株		定植時	植穴土壌混和	
		ミナミキイロアザミウマ コガネムシ類幼虫	0.5～1g/ 株				
トマト ミニトマト	コナジラミ類	1g/ 株	定植前日～定植当日		株元散布		
	トマトハモグリバエ		定植時	植穴土壌混和			
		アブラムシ類	0.5g/ 株	生育期 但し, 収穫前日まで	3回以内	株元散布	

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
いちご	アブラムシ類	0.5g/ 株	定植時	1 回	株元散布	3 回以内 (粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計2回以内)
		0.5～1g/ 株	生育期 (定植30日後まで) 但し、マルチ被覆直前まで			
	コナジラミ類 コガネムシ類幼虫	1g/ 株	定植時		植穴土壌混和	
レタス	ナモグリバエ オオタバコガ ヨトウムシ	0.5g/ 株	定植前日～定植当日		株元散布	4 回以内 (粒剤の株元散布は1回以内、散布は3回以内)
アブラムシ類	0.25～0.5g/ 株	2 回以内 (粒剤の株元散布は1回以内、散布は1回以内)				
非結球レタス	ナモグリバエ オオタバコガ ヨトウムシ	0.5g/ 株				
わけぎ あさつき	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	6kg/10a	は種時		播溝土壌混和	4 回以内 (土壌混和は1回以内、散布は3回以内)
			植付時		植溝土壌混和	
0.25～0.5g/ 株		定植前日～定植当日	株元散布		3 回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和及び定植当日までの株元散布は合計1回以内)	
6kg/10a		は種時	播溝土壌混和			
		植付時	植溝土壌混和			
えだまめ	アブラムシ類	3kg/10a	は種時		播溝土壌混和	4 回以内 (は種時又は定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)
		1g/ 株	定植時		植穴土壌混和	
ふき	コナジラミ類 モモアカアブラムシ	2g/ 株	収穫90日前まで		株元散布	3 回以内 (粒剤の株元散布は1回以内、散布及びくん煙は合計2回以内)
セルリー	アブラムシ類 ナモグリバエ	0.5g/ 株	定植時		植穴土壌混和	2 回以内 (定植時の土壌混和は1回以内)
ばれいしょ	アブラムシ類	3～6kg/10a	植付時		植溝土壌混和	4 回以内 (植付時の土壌混和は1回以内、植付後は3回以内)
さといも						
こんにゃく	ワタアブラムシ	3kg/10a	培土時 (出芽期)		株元土壌混和	1 回
ストック	ハイマダラノメイガ	0.5g/ 株	育苗期		株元散布	5 回以内

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
き　　く	アブラムシ類	0.5～1g/ 株	生育初期	1 回	株元散布	5 回以内
	アザミウマ類	1g/ 株	定植時		植穴土壌混和	
	ハモグリバエ類				植溝土壌混和	
	ミカンキイロアザミウマ					
つ　つ　じ 類	ツツジグンバイ	3～6kg/10a	発生初期		株元散布	5 回以内 (樹幹注入は 1 回以内)
た　　ば　　こ	アブラムシ類	0.5～1g/ 株	定植時			3 回以内 (定植後は 2 回以内)
		0.25g/ 株	育苗期後半			